

平成28年3月29日

国土交通省中部地方整備局

中部運輸局

## 新たな「中部圏広域地方計画」と 「中部ブロックにおける社会資本整備重点計画」が決定

**概要：** 2050年の中圏を展望する中で、2027年のリニア中央新幹線「東京～名古屋」間開業を見据えた今後概ね10ヶ年間の中圏の国土づくりの指針、「世界ものづくり対流拠点-中部」を標榜する新たな「中部圏広域地方計画」と、これを踏まえた今後概ね5ヶ年間の社会資本整備に関する具体的計画「中部ブロックにおける社会資本整備重点計画」が、平成28年3月29日付で決定いたしました。

この決定を受け、国（関係地方支分部局）・地方自治体・経済界等の関係機関が連携し、中圏の将来像の実現に向けて、計画を着実に推進して参ります。

**資料：** • 中部圏広域地方計画・中部ブロックにおける社会資本整備重点計画（策定経緯）（資料1）  
• 広域地方計画・社会資本整備重点計画（資料2）  
• 中部圏の将来像（資料3）

なお、両計画本文、概要版については、以下のアドレスからご確認下さい。

### 【中部圏広域地方計画】

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kokudokeisei/index.htm>

### 【中部ブロックにおける社会資本整備重点計画】

[http://www.cbr.mlit.go.jp/mannaka/new\\_mannaka/shakai-shihon.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/mannaka/new_mannaka/shakai-shihon.html)

**配布先：**中部地方整備局記者クラブ、東海交通研究会、名古屋港記者クラブ、長野県庁内会見場、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重第二県政記者クラブ、静岡市政・経済記者会、浜松市政記者クラブ、名古屋市政記者クラブ

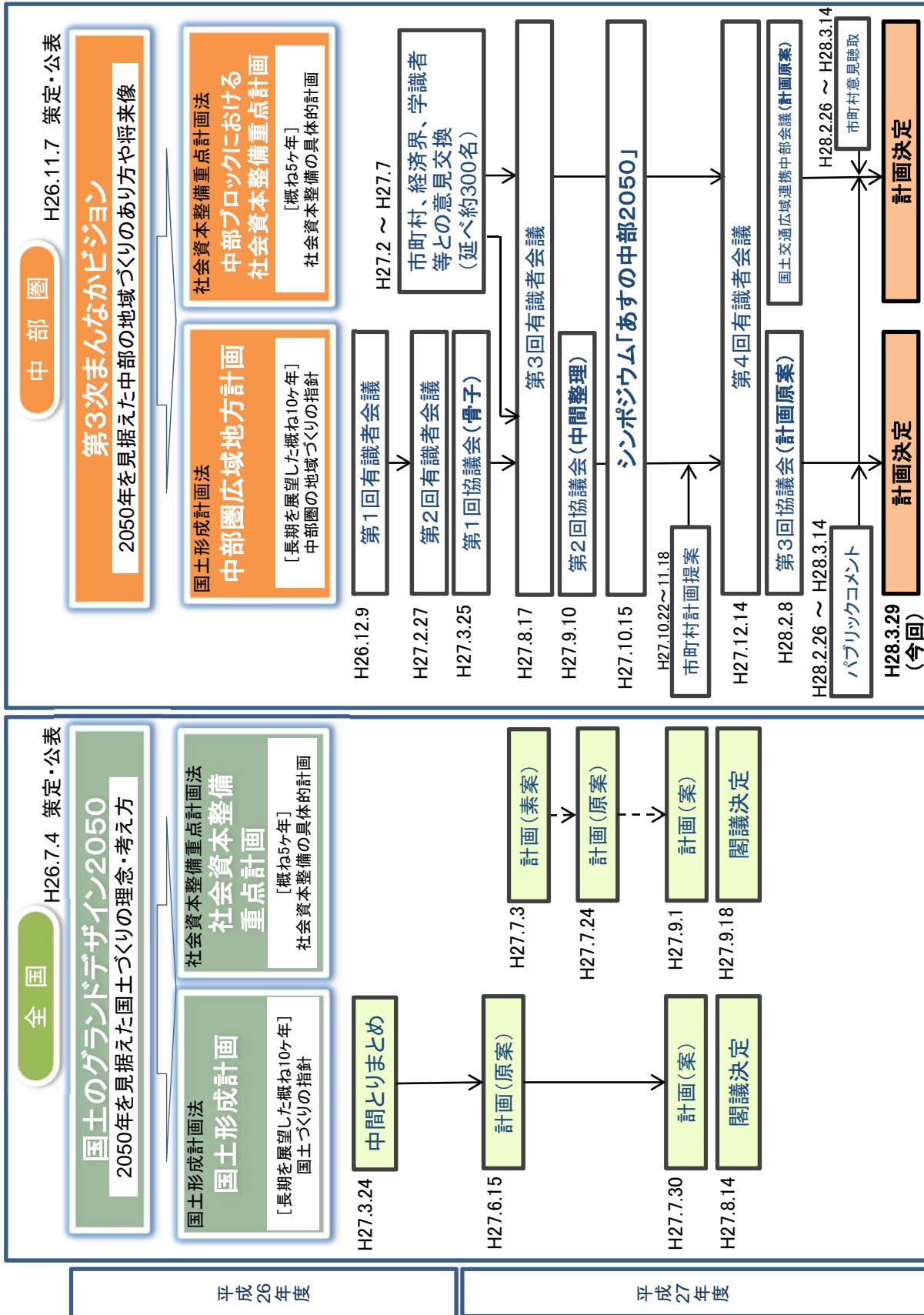
#### 〔問合せ先（広域地方計画）〕

中部圏広域地方計画協議会 事務局  
国土交通省中部地方整備局  
企画部 事業調整官 松岡 敏郎  
TEL 052-953-8129  
建設部 事業認定調整官 大仲 章雅  
TEL 052-953-8571  
国土交通省中部運輸局  
交通政策部 計画調整官 金子 靖志  
TEL 052-952-8006

#### 〔問合せ先（中部ブロックにおける社会資本整備重点計画）〕

国土交通広域連携中部会議 事務局  
国土交通省中部地方整備局  
企画部 事業調整官 松岡 敏郎  
広域計画課長 竹下 康則  
TEL 052-953-8129



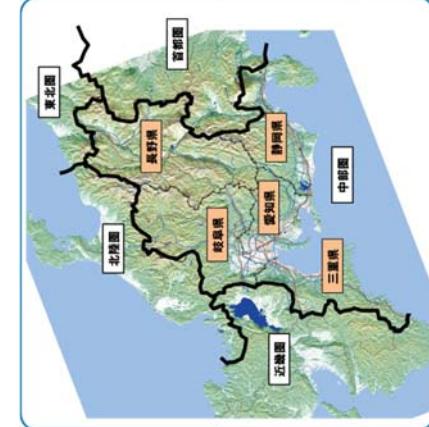




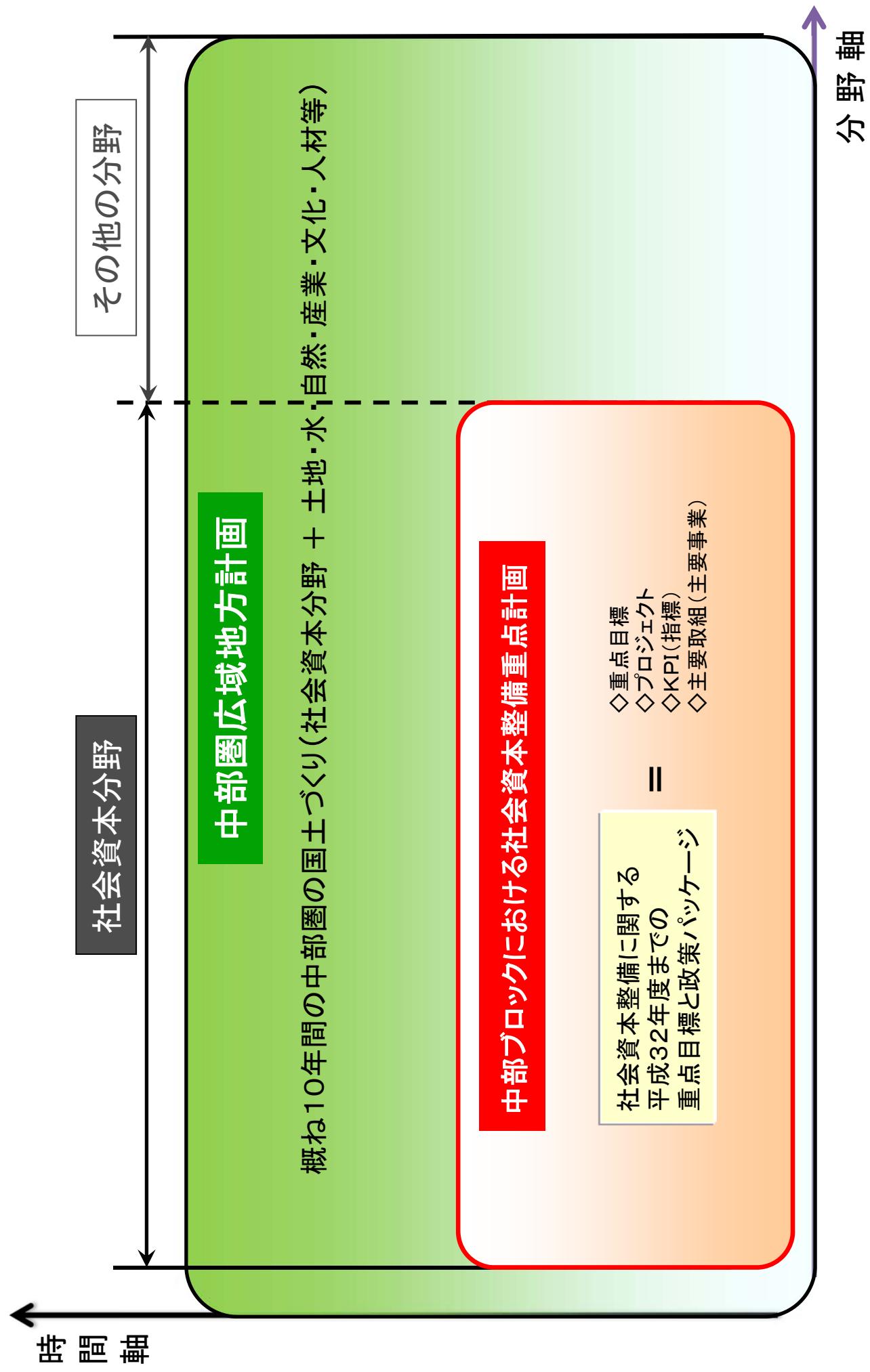
# 広域地方計画・社会资本整備重点計画

## 資料2

広域地方計画 ～ブロックの国土形成に係る総合的・基本的計画～		地方ブロックにおける社会资本整備重点計画 ～地方ブロックの社会资本整備の重点計画～
目的	「広域ブロックの地域特性に応じた施策展開」により自立的に発展する圏域の形成」を目指し、広域ブロックにおける <b>国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的基本的な計画</b> を定める。	広域地方計画に示す地方ブロックの将来像などの実現に向け、地域特性に応じて社会资本を重点的に整備し、適切に維持管理・更新していくための <b>具体的な重点計画</b> を定める。
計画の対象	<b>国土の利用、整備及び保全に関する施策全般</b>	道路、河川、空港、港湾、下水道、公園等の <b>社会资本整備事業</b>
計画期間	2050年という長期を展望しつつ、 <b>概ね10年間</b>	<b>概ね5年間（平成32年度まで）</b>
根拠法	国土形成計画法	社会资本整備重点計画「全国計画」〔閣議決定〕
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方圏を取り巻く情勢</li> <li>○目指すべき将来像と実現に向けた<b>基本方針</b></li> <li>○将来像実現に向けた<b>具体的な方策及び取組</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状と主要課題</li> <li>○目指すべき将来の姿と社会资本整備の<b>基本戦略</b></li> <li>○社会资本整備の<b>重点目標</b></li> <li>◇<b>重点目標、プロジェクト、重点施策</b></li> <li>◇<b>KPI</b>（目標の達成度を評価するための代表的な指標）</li> <li>◇<b>主要取組</b>（目標達成のための具体的な取組として地方を代表又は地域を支える事業）</li> </ul>
策定圏域	<b>全国8つの地方圏</b>	広域地方計画の8ブロックに北海道と沖縄を加えた <b>全国10ブロック</b>



# 広域地方計画・社会资本整備重点計画 ②



# 中部圏の将来像（中部圏広域地方計画 H28.3.29 国土交通大臣決定）

## 資料3

### 目指す方向

- 世界を先導するスーパー・メガリージョンを舞台に、そのセンターとして、ものづくりを基軸に我が国の成長エンジンの一翼を担う。
- 名古屋大都市圏と周辺都市・地域が連携・融合・対流する日本のハートランド。
- 人口減少・高齢化に適応し、リニア効果を最大限発揮。東京一極集中の是正や地方への人口環流を先導。

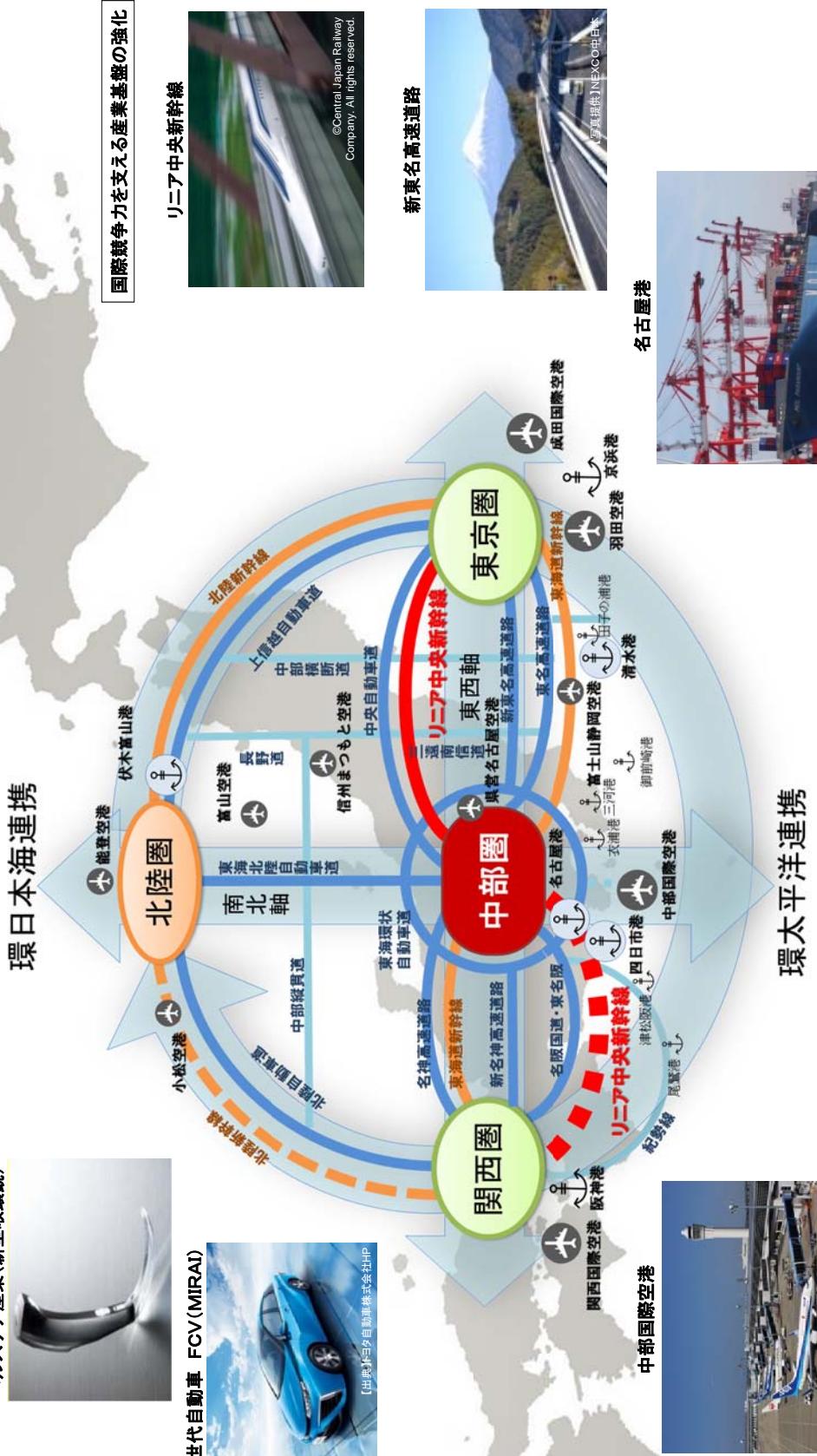
### 暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”

- 世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ  
<日本の中の中部・中部の中の人々>  
リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部  
<前提となる安全安心・環境>  
南海トラフ地震などの災害に強くしなやか、環境と共生した国土
- 世界に冠たるものづくり技術と品質。世界中からビジネスチャンスを求めて、ひとつ、モーカネ、情報が集まり対流。環太平洋・日本海に広がれた我が国的一大産業拠点
- 高速交通ネットワークを活かし中部北陸に広がる国内外との交流連携、対流促進。  
産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値創造、ひとり一人への豊かさを実感、地方創生
- 太平洋・日本海2面活用型の強靭な国土。環境共生、国土保全、国土基盤の維持管理・活用など、国土の適切な管理による安全安心で持続可能な国土

### 中部圏の将来像



### 中部圏の戦略産業



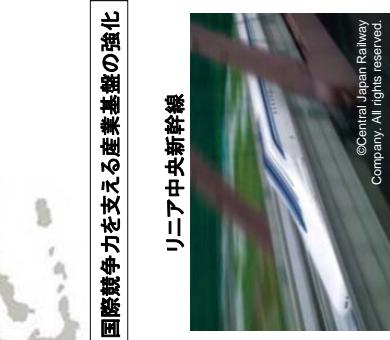
### 国際競争力を支える産業基盤の強化



### 環太平洋連携



### 環日本海連携



### 国際競争力を支える産業基盤の強化

